

## 電気専門用語集 No. 21 送電線路【改正】

送電線路電気専門用語標準特別委員会  
委員長 成田 知巳  
幹事 岩崎 公裕, 酒井 修

電気専門用語集 No. 21 送電線路を改正・発行した。この専門用語集 No. 21 送電線路は、IEC において TC1 (電気技術用語) 「架空電線路」が集約されつつある状況から、送電関係の専門用語の整理、統一を図るとともに国際関連規格との整合を図るため、IEC, CIGRE, JEC 等の標準に定められた用語と日常使われている汎用性のある用語を抽出することで、1988 年 7 月に初版が刊行された。それ以来 33 年間、一度も改正されていない。

その間、IEV (International Electrotechnical Vocabulary) に関しては、Electropedia として Web 上で公開され、Wikipedia と同様にコメントを受け付ける仕組みを設けて改正が行われており、用語集のうち架空送電線路関係 (IEC60050-466) は 2021 年、地中送電線路関係 (IEC 60050-461) は 2008 年に最新の改正が行われている。

このような状況から、電気専門用語集 送電線路に関して改正を行った。改定にあたっては、初版の用語について維持・改正・削除を検討するとともに、初版制定以降に出版された文献より抽出を行った。

2021 年 10 月より送電線路電気専門用語標準特別委員会を設立するとともに、下部組織として幹事会・架空線作業会・地中線作業会を設置して、2023 年 7 月まで改正作業を行った。2023 年 9 月に成案を得て、2024 年 1 月 23 日電気規格調査会 規格役員会の承認を経て制定したものが、この電気専門用語集 No. 21 送電線路である。

今回の改正で最も重要な変更点は、下記の 6 点である。

1) 用語抽出の対象として国内外の規格、文献、論文等を調査し、送電線路に関する用語抽出した。抽出した用語の中でも重要度・使用頻度等を勘

案し新規用語として採用した。

- 2) 用語について理解しやすいよう、図表の充実化を図った。
- 3) 用語抽出にあたっては、以下の選定基準を基本とした。
  - ①新技術：初版制定以降の比較的新しい技術用語
  - ②重要性が増加：初版制定時にも存在していたが、近年重要性が増している用語
  - ③重要な一般用語：一般用語ではあるが、送電技術において重要な用語
- 4) 関連する技術の複数の用語について、表にまとめる、備考欄に列記するなどの整理を行った。
- 5) 初版に収録された用語のうち、生産が継続されていない設備の名称については、保守上の観点から削除しないこととした。また、近年の用語や使用法の変遷に伴い、表現、説明等を修正した。
- 6) 英語表記については、IEV との整合をはかるとともに、地域等で異なる複数の名称についても幅広く収録を行った。

採録用語の見直し、定義文の見直しなどを行った結果、新規採録用語は 192 語、改正用語は 178 語、削除用語は 14 語となった。結果として改正前の 303 語に対し、改正後は 481 語となった。

～委員長よりひと言～



成田 知巳

なりた ともみ

電気規格調査会 送電線路電気専門用語  
標準特別委員会 (委員長)

電気専門用語集 No. 21 送電線路は、これまで 33 年間活用されてきたが、国際規格や技術の進展などに伴い、見直す必要が生じた。そこで、送電線路に関する関係者が集まり、国内外の論文、国際規格、各種技術報告などを精査した上で、用語集の改正版を作成した。

この冊子が、送電線路の関係者の意思疎通の一助となり、技術の発展に繋がることを期待する。